

③ 故障かな?と思ったら

現象	考えられる原因	処置
本体LEDが点灯しない	電源線が正常に接続されていない。	電源線を再度結線しなおしてください。
	電源線を間違って信号用端子台に接続している。	本器が壊れている可能性があります。電源を切って確認してください。壊れている場合は交換してください。
LEDがちらつく	シーンコントローラ(DP-37643・DP-39093)の「明るさ設定」が1~9になっている。	明るさ設定を10以上にしてください。(9ページ「明るさ設定について」をご参照ください。)
	負荷設定が間違っている。	「F4」の負荷設定を「L5」にしてください。(※1)
シーンコントローラで調光の操作ができない	負荷設定が間違っている。	「F4」の負荷設定を「L5」にしてください。(※1)
	PWM信号線が正常に接続されていない。	信号線を再度結線しなおしてください。
信号制御調光器で調光の操作ができない	PWM信号線が正常に接続されていない。	信号線を再度結線しなおしてください。
	信号制御調光器のスイッチがOFFになっている。	スイッチを入れてください。

※1. モード「負荷設定」をしてください。(詳細は8ページの「負荷の設定について」をご参照ください。)
 ●調光の場合、「シーン回路選択」ボタン「3」「4」を「L5」にしてください。

ご使用に関して

〔周囲の影響〕

- 器具の近くでは、ラジオやテレビ等の音響、映像機器に雑音が入ることがまれにあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコン等)のリモコンが動作しにくくなることがまれにあります。

※異常を感じた場合は、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。

〔ご注意〕

- 点灯時、消灯後には若干のきしみ音が発生することがあります、異常ではありません。
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。変質・変色の原因となります。

△ 警告

LEDを直視するのをおやめください。目に悪影響を及ぼすことがあります。

保証について

- 保証について
この商品の保証期間は3年です。
但し、消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

- 保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。

- 補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

- 明るく安全に使用するために6ヶ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。
 - (1)点検項目
 - LEDが切れていませんか。
 - 正常に点灯しますか。
 - 取付面との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
 - 異常な臭い、音、発熱はありませんか。
 - カバー(セード)等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。
 - (2)清掃(安全のため、電源を切ってから行ってください)
 - 器具のお手入れは柔らかい布で軽く拭いてください。
 - 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
 - シンナー、ベンジン等の揮発性のものは使用しないでください。
- 異常時の処置
異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談は CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル 全国共通) へご連絡ください。

受付時間(月～金曜)9:00～17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

品番 DSY-4511FW・DSY-4512FW・DSY-4513FW

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ

工事店様へ

- ご使用の前に安全上の注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
- 本説明書は大切に保管してください。
- 施工前に安全上の注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

安全上の注意

必ずお守りください。

△ 警告

この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容」を示します。

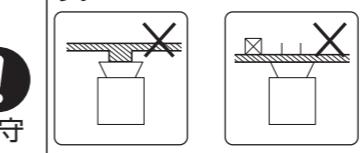
△ 注意

この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定される内容」を示します。

△ 警告

この器具は天井・壁面・床面取付兼用です。指定場所以外には取付けないでください。火災・落下の原因となります。

周囲温度-5～35°C以外では使用しないでください。火災の原因となります。



不安定な場所 補強のないロックワール等のやわらかい取付面

器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。器具の近くにストーブ等の温度の高くなるものを置かないでください。火災・感電・落下の原因となります。

器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下等の原因となります。

この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または弊社「CSセンター」にご相談ください。

△ 注意

電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

●照明器具には寿命があります。
設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。

※使用条件は周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。

周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。

- 施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は必ずお客様にお渡しください。

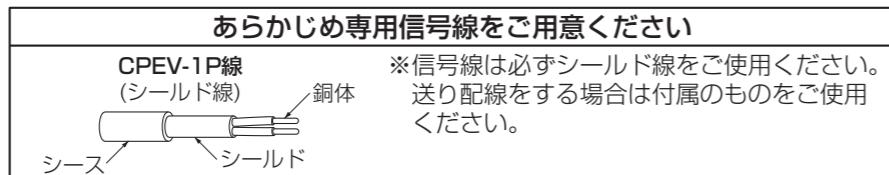
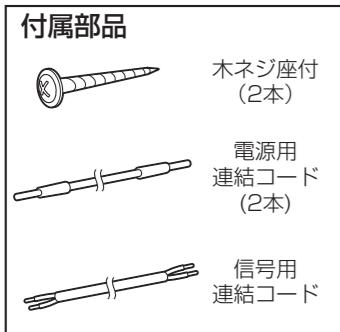
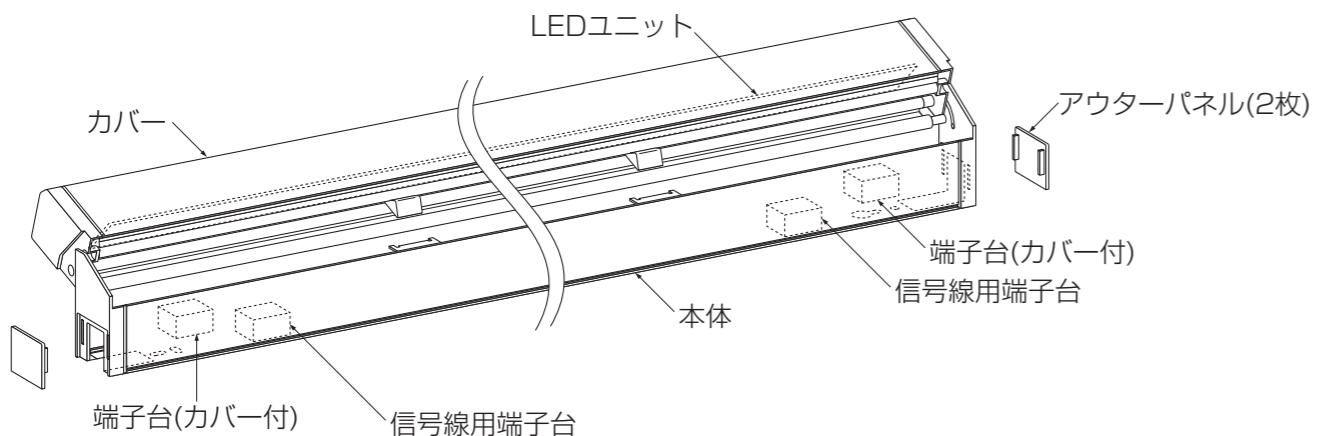
仕様

- 屋内専用
- 天井・壁面・床面取付兼用
- 木ネジ取付方式
- 異常温度防止機能付
- LEDユニットは交換不可

品番	DSY-4511FW	DSY-4512FW	DSY-4513FW
定格電圧	交流 100V		
周波数	50/60Hz兼用		
消費電力	26W	34W	43W
入力電流	0.30A	0.38A	0.49A
LEDユニット	演色性 Ra83 電球色(2700K)～キャンドル色(2000K) LED光源寿命：40,000時間		
器具重量	約2.2kg	約2.9kg	約3.7kg
電源接続	端子台(送り総容量6.5A)		
適合部品(別売)	品番		
4回路シーンコントローラ	DP-37643		
4回路シーンコントローラ子器	DP-37987		
6回路シーンコントローラ	DP-39093		
6回路シーンコントローラ子器	DP-39094		
信号制御調光器	DP-38458・DP-36366F・DP-53392E		

各部の名称

※下図は、簡略した図です。



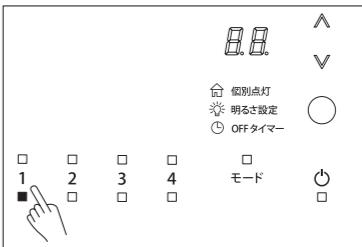
取扱説明

明るさ設定について

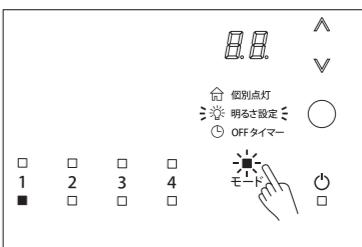
- 各シーンの明るさを回路ごとに設定します。
シーンコントローラ(DP-37643・DP-39093)の取扱説明書をご参照ください。

1. シーンを設定する

- 「1」～「4」のボタンをタッチして点灯させるシーンを選択してください。

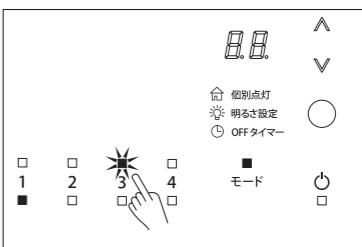


2. 「モード」ボタンを2回タッチして「明るさ設定」にする

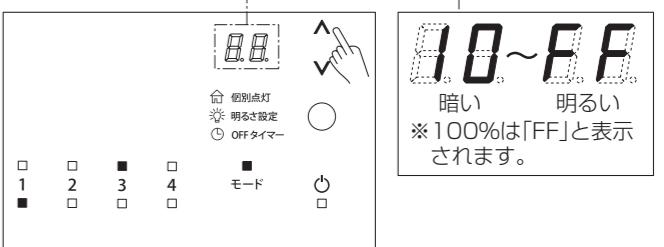


3. 「3」のボタンをタッチして調光モードにする

※この時「3」のオレンジマークが点灯します。

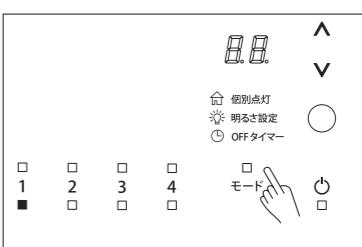


4. 「^」「▼」ボタンをタッチして明るさを選択する



5. 「モード」ボタンを2回タッチして終了する

- (30秒経過すると負荷設定されずに自動終了します。
再度1.から設定を行ってください。)

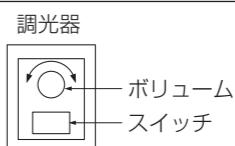


①～② シーンコントローラ子器(DP-37987・DP-39094)を使用する場合

- シーンコントローラ子器(DP-37987・DP-39094)の取扱説明書をご参照ください。

② 信号制御調光器(DP-38458・DP-36366F・DP-53392E)を使用する

- 信号制御調光器のスイッチをONにしてください。
- ボリュームを回して明るさを調整してください。



ご使用方法

①-① シーンコントローラ(DP-37643・DP-39093)を使用する

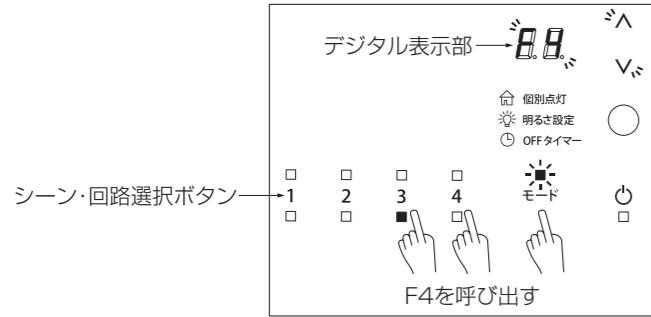
- シーンコントローラ(DP-37643・DP-39093)の取扱説明書をご参照ください。
- DP-37643の設定方法を例として示します。

負荷の設定について(調光モードの設定について)

<モード「負荷設定」(F4)を呼び出す>→調光モードの設定

- 各回路ごとの負荷の設定を行います。(初期設定: L1)

- ON/OFFボタンをタッチして、電源を入れてから下記操作を行ってください。

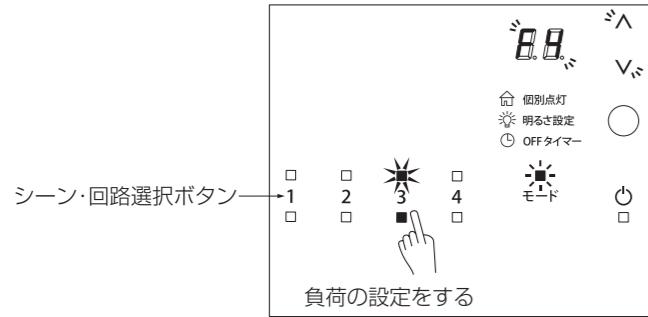


1. 「3」「4」のボタンと「モード」ボタンを同時に3秒以上タッチしてください。



モード「負荷の設定」が呼び出されます。

デジタル表示部に「F4」がオレンジ色に点灯し、「シーン・回路選択」ボタンの「4」が青色に点滅します。



2. 「シーン・回路選択」ボタン「3」を選択し、「^」「v」ボタンをタッチして「L5」に設定してください。
「シーン・回路選択」ボタン「4」を選択し、「^」「v」ボタンをタッチして「L5」に設定してください。



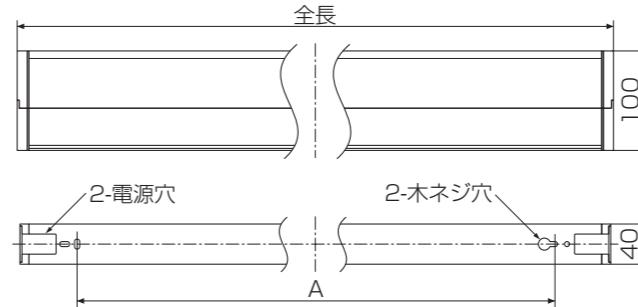
選択した回路の「シーン・回路選択」ボタンがオレンジ色に点灯します。



3. 「モード」ボタンを1回タッチして終了してください。
(30秒経過すると負荷設定されずに自動終了します。
再度1.から設定を行ってください。)

施工説明

取付寸法

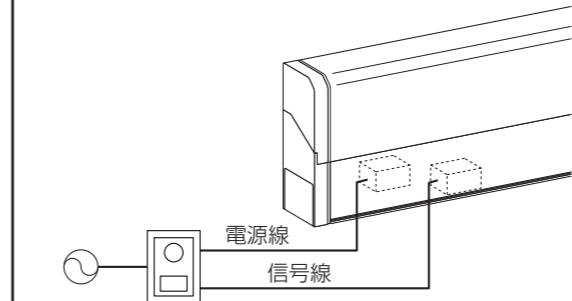


単位: mm

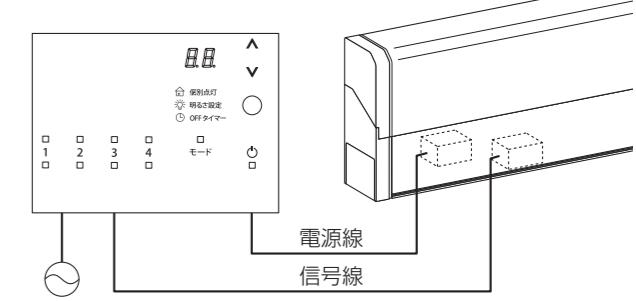
品番	全長	A寸法
DSY-4511FW	913	800
DSY-4512FW	1213	1100
DSY-4513FW	1513	1400

システム図

- 信号制御調光器を使用する場合



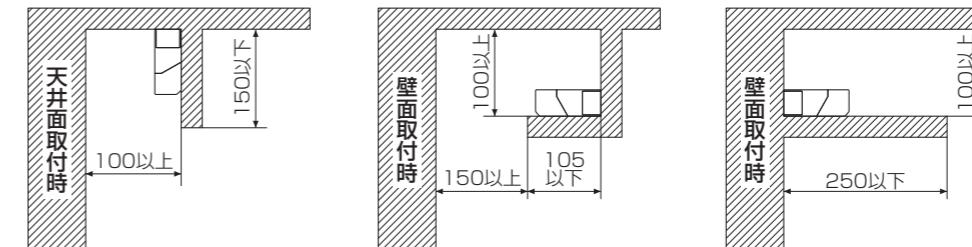
- シーンコントローラを使用する場合



① 取付け前の注意事項について

- 下記の条件を守って施工してください。

最小施工寸法 単位: mm



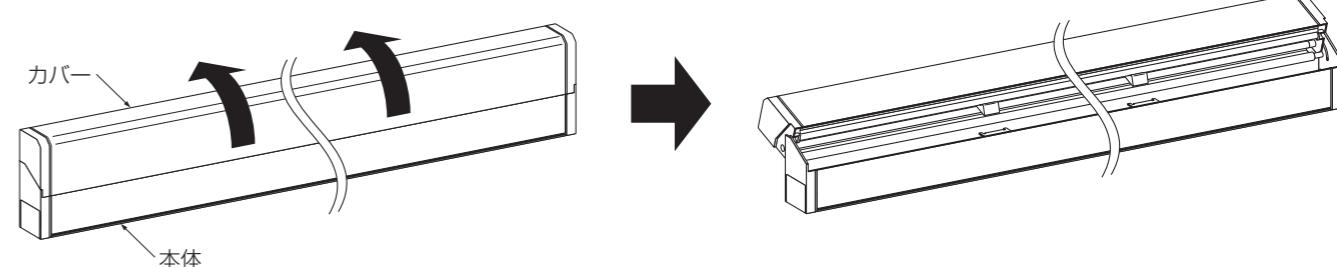
△ 警告

指定寸法以外での取付けはできません。火災・故障の原因となります。

② カバーを開く

- カバーを持って矢印方向にカバーを開いてください。

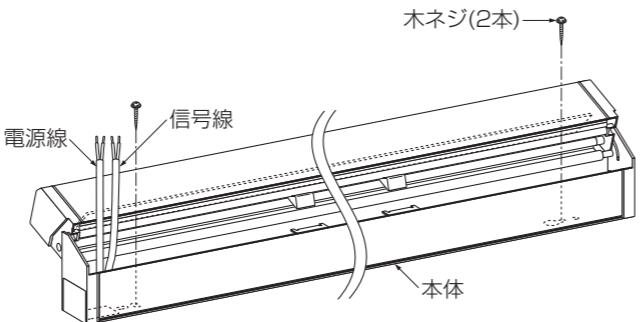
※カバーは本体に固定されています。



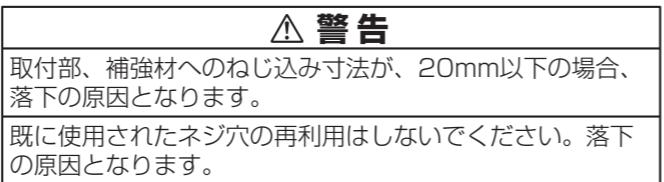
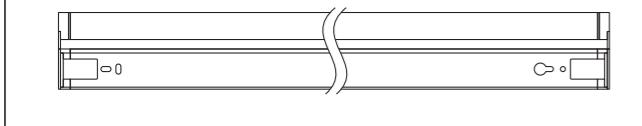
施工説明

③ 本体を取付ける

- 取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。乾燥が不充分だと器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。
- 本体の電源穴に電源線・信号線を通し、木ネジ(2本)で取付面に取付けてください。
- ※ロックワール等のやわらかい取付面の場合、補強材のある位置に取付けてください。
- ※壁面取付けの場合、取付方向は横長付け専用です。

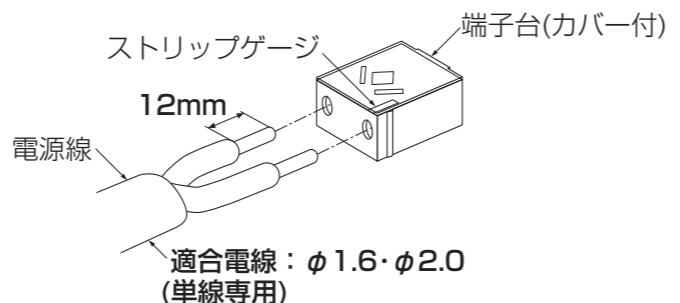
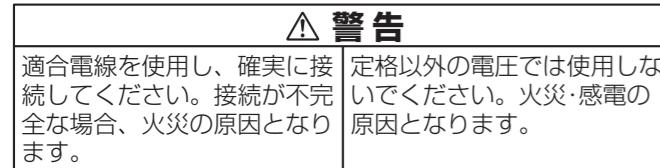


横長付けの場合



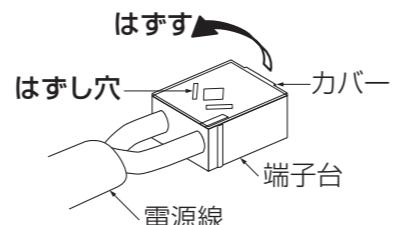
④ 電源線を接続する(作業前、必ず電源を切る)

- 電源線を端子台に適切、確実に差し込んでください。



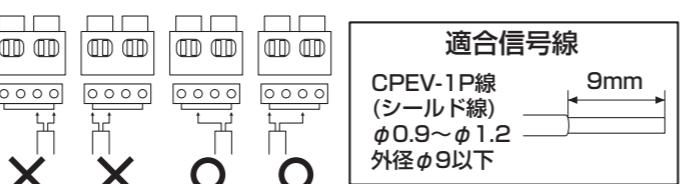
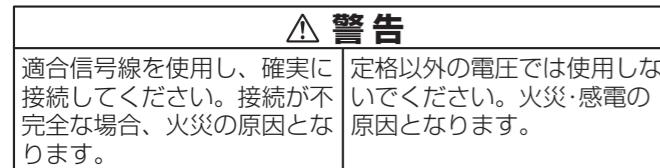
<電源線を取外す場合>

- カバーを取り外し、マイナスドライバー等をはずし穴に差し込み、電源線を引き抜いてください。



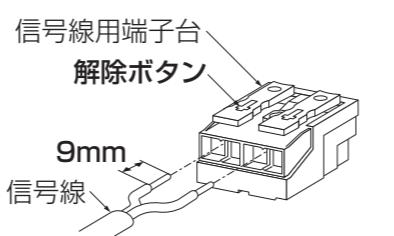
⑤ 信号線を接続する(作業前、必ず電源を切る)

- 信号線を端子台に適切、確実に差し込んでください。



<信号線を取外す場合>

- 解除ボタンを押しながら、信号線を引き抜いてください。



施工説明

⑧-② 信号制御調光器(DP-38458・DP-36366F・DP-53392E)を接続する場合(作業前、必ず電源を切る)

- 信号制御調光器(DP-38458・DP-36366F・DP-53392E)の取扱説明書に従って、電源線、信号線を接続してください。

信号制御調光器接続台数

	DP-38458	DP-36366F	DP-53392E
DSY-4511FW	12台	20台	25台(50台)
DSY-4512FW	6台	10台	12台(25台)
DSY-4513FW			

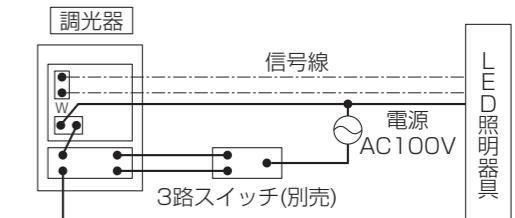
※()内は照明器具の電源を信号制御調光器のスイッチからとらない場合の接続台数です。

<配線方法>

1. DP-38458を接続する場合

- 必ず調光器から器具へ電源線を接続し、ON/OFFをしてください。

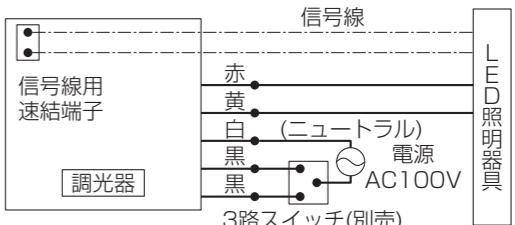
[右記は、3路スイッチ(別売)を設けた配線図です。]



2. DP-36366F・DP-53392Eを接続する場合

- 必ず調光器から器具へ電源線を接続し、ON/OFFをしてください。

[右記は、3路スイッチ(別売)を設けた配線図です。]



適合信号線

CPEV-1P線
(シールド線)
φ0.9~φ1.2
外径φ9以下

※信号制御調光器(DP-38458・DP-36366F・DP-53392E)の取扱説明書を必ず確認してください。

△ 警告

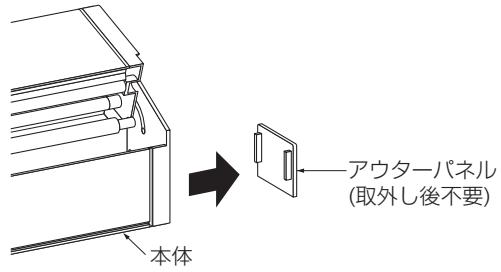
適合電線・信号線を使用し、確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。

定格以外の電圧では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

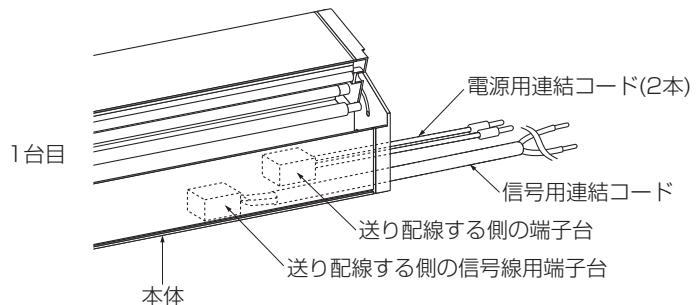
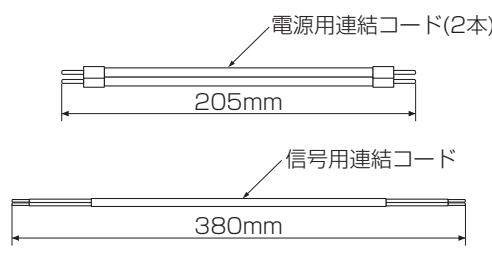
施工説明

⑥ 器具を連結する

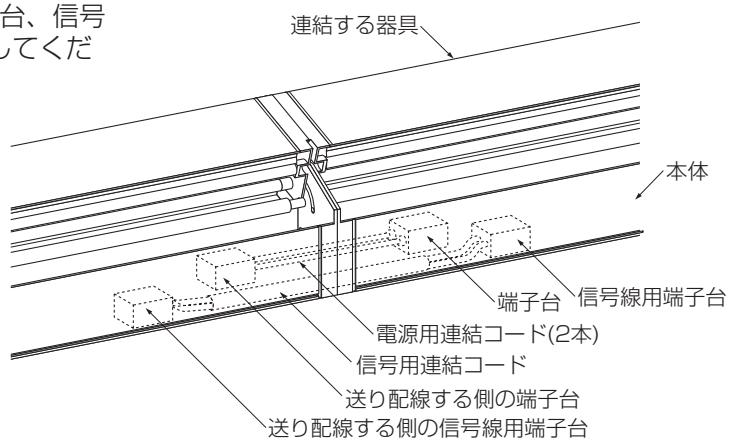
- 本体からアウターパネルを取り外してください。



- 送り配線する側の端子台に電源用連結コード(2本)、信号線用端子台に信号用連結コードを確実に接続してください。

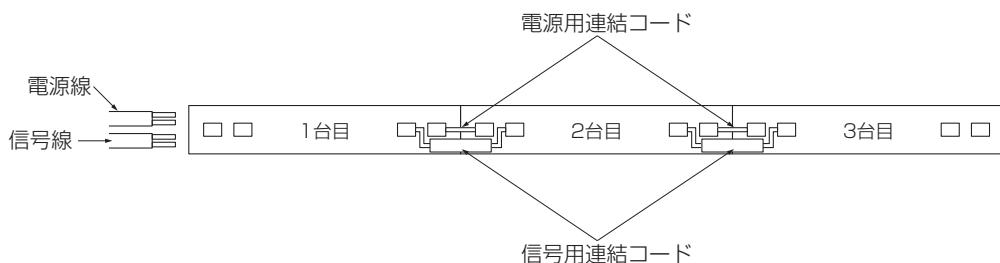


- 電源用連結コード(2本)を連結する器具の端子台、信号用連結コードを信号線用端子台に確実に接続してください。



<連結例>

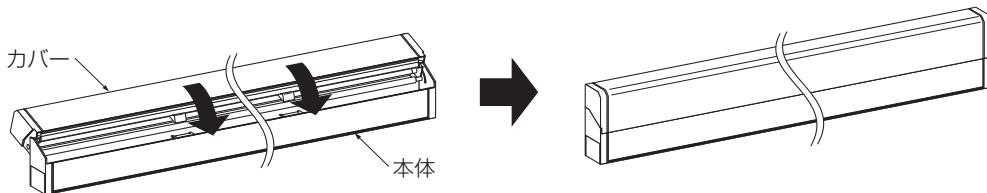
- 3台の場合



施工説明

7) カバーを閉める

- カバーを力ちと音がするまで押し込み、カバーを閉めてください。



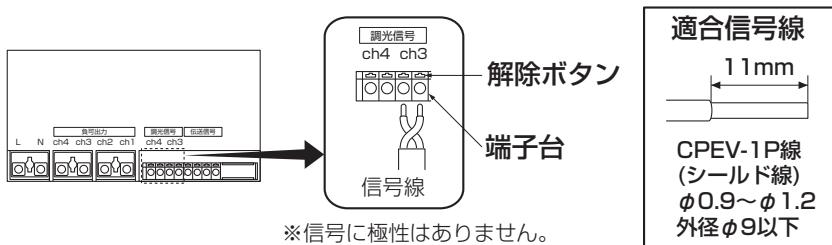
8) 配線方法

8-1) シーンコントローラ(DP-37643・DP-39093)に接続する場合(作業前、必ず電源を切る)

- シーンコントローラ(DP-37643・DP-39093)の取扱説明書に従って、電源線、信号線を接続してください。
- 接続台数はシーンコントローラ(DP-37643・DP-39093)の取扱説明書をご参照ください。

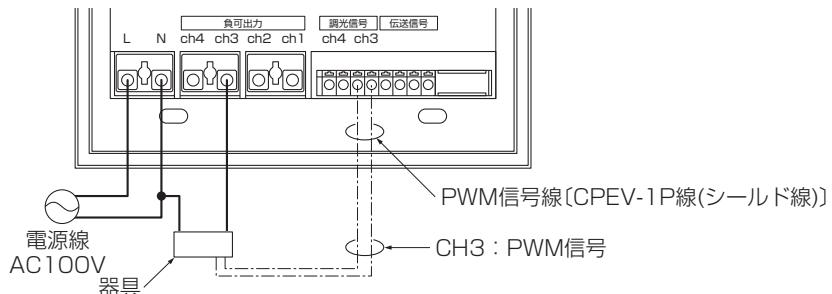
<配線方法>

- DP-37643の配線方法を例として示します。



<信号線を取り外す場合>

- ドライバー等で解除ボタンを押しながら、信号線を引き抜いてください。



⚠ 警告

適合電線・信号線を使用し、確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。

定格以外の電圧では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

※シーンコントローラ(DP-37643・DP-39093)の取扱説明書を必ず確認してください。